桜ヶ丘だより

第40号
発行所
関高等学校同窓会
岐阜県関市桜ヶ丘2丁目
郵便番号 501-3903
電話(0575)22－5688
FAX(0575)23－7089

〈校訓〉
錬磨　至誠　進取

平成20年度同窓会総会開催

副会長　堀部　哲夫（高21回）

梅雨の合間の去る六月十四日（土曜日）、二年に一度となっています同窓会総会が、美濃市のホテルマリーバル石金に於いて開催されました。十八回生四十三名、十九回生二十五名をはじめとし総勢百八名の出席が有りました。

山田登美子副会長の開会のことばに続き、林隆一会長の挨拶がありました。林会長は同窓会名古屋支部の立上げが遅れている件の報告と、二年後に迎える創立九十周年記念事業へのご理解とご協力を訴えられました。

続いて小邑学校長より「関高生は元気にがんばっています。現代社会は高校生にとってメンタル面で厳しい世の中になっています。関高生には、心の強さを養い、人の為になれる人間、厳しい社会でも生きていける立派な社会人になって欲しいと思っています。社会のリーダーになれる関高生に育てていきます。街で関高生を見かけたら励ましてやってほしい。」と挨拶が有りました。

挨拶に続き、生徒会が作った「わんだふる関高らいふ」と題する関高校の紹介DVDが上映されました。その中では、現在の関高の授業風景や部活、強歩大会、関高祭、生徒会活動の様子などが画面に現れました。OB、OGの皆さんは、自分たちのころと比較しながら楽しく見ておられました。

総会においては、平成十九年度事業・会計報告、新役員の選出、平成二十年度事業計画・予算案がすべて原案通り承認されました。

総会終了後、図書館電算化システムを寄付された故奥田正子先生のご遺族に対し感謝状が贈呈されました。

懇親会では、関高出身の尾藤関市長の挨拶と乾杯で始まり、楽しい懇親会となりました。特に出席者の多かった十八回生、十九回生の皆さん方は、久しぶりに見る同級生との語らいにたいへん盛りあがっていました。

歴史の重みを感じ、意義深く楽しい同窓会総会となりましたことをご報告します。

和やかに盛大に108名の集い

新役員紹介

心の免疫力

学校長　小邑　政明先生

このたびの定期異動で岡﨑久校長の後を受け、恵那高校から着任しました小邑政明（こむらただあき）です。美濃地区の中心校であり伝統校でもある本校に勤務できることへの感謝の気持ちと責任の重さをひしひしと感じております。

年度当初、生徒と職員に次のような話をしました。生徒には、「高校時代は知力と体力の面で最も成長するときであるので、一分一秒を大切にしてほしい。頭を鍛えよ、体を鍛えよ、そして最も難しいことであるが、心を鍛えよ。」先生方には、「高校を卒業したら社会人である。自らの力と判断で生きていかねばならない。生徒を指導できるラストステージである。また、関高校卒業生は、各地で活躍されている先輩方と同様、将来社会のリーダーとしての役割を担っていかねばならない。精一杯教え導こう。学校生活全体を通じて、充実感や達成感を味わわせ、自信と誇りを持たせて卒業させよう。」そう話して関高校でのスタートを切りました。

さて先日、東京の秋葉原で悲しい事件が起きました。容疑者による携帯サイトへの、「親の助力で中学校まではトップ、高校時代はビリ、自分で頑張った奴に勝てるわけがない。」という書き込みを見て、私の心に二つの言葉がよみがえりました。

津保川のたもとにある「泣くのはいまのうち、君が立派な大人になるため」と、僧都源信の和歌「大空の　雨はわきても　おそがねど　うるう草木は　そそがざま（雨は差別をして注ぐわけではないが、それを受ける草木の生長はそれぞれ異なる）」です。容疑者の青年は自分に注がれたはずの雨の生かし方を誤りました。

家庭・地域・学校ができることは子ども達に十分な雨を注ぐことであり、それをどう受け止め生かすかは、大人になってゆく子ども達自身に委ねられます。その判断力を育てることがラストステージである関高校の務めだと考え、職員が心を一つにして、生徒諸君を教え導いていく所存です。

四川大地震の募金活動報告

3年8組　土屋　未央

中国といえば今年は北京オリンピックが開催されるなど、世界で今一番勢いのある国の一つであると言っても過言ではありません。そんな中国を、私たちは昨年九月末に「日中二十一世紀交流事業・日本の高校生代表団」の第二陣として訪れました。

岐阜県団の五十名のうち三十名は関高生であり、貴重な経験をたくさんさせていただきました。そしてホームステイや植樹活動、学校訪問など様々な場面で、中国の人々の温かい笑顔に出会うことができました。

四川大地震が発生したのはこの五月十二日。私たちの中で訪中が懐かしい思い出となってきていた矢先の出来事でした。四川は私たちが訪れた西安、北京に近い地域です。ニュースでその悲惨さが伝わる度に心が痛みました。

そこで少しでも中国の皆さんの役に立てたらという思いで、先生方の協力のもと、二、三年生の訪中団メンバー十八名で、今回の募金活動を企画しました。

私たちには、少なからず「本当にお金は集まるのかな…。」という不安がありましたが、朝、昇降口に立っていると、たくさんの生徒や先生が笑顔で協力してくださり、本当に嬉しく思いました。人の優しさ、助け合いの精神は世界共通なんだと、改めて実感することができた有意義な活動となりました。

関高の皆さんからの募金三万数千円は責任をもって義捐金機関に送らせていただきます。本当にご協力ありがとうございました。

進路指導

夢を志望に、志望を現実に！生徒の進路実現に向けて

進路指導部　居波　裕

本校は『学力向上フロンティアハイスクール』事業の指定を文部科学省から受け様々な事業に取り組んできました。今もその多くの内容が継続されています。またその取組は全国的にも評価され、この二年間で日本中の高等学校や教育委員会などから60件近くの学校訪問を受けました。

頑張る関高生の進路実現のために進路指導部も日々努力を重ねています。以下に過去三年間の進路実績（現役生合格者数）の一部を示します（詳しくは本校HPをご覧下さい→http://school.gifu-net.ed.jp/seki-hs/）。

今年度も平日補習・土曜特別講座・土曜学校開放を実施しており、多くの生徒が自分の学力向上のために頑張っています。夏季休業中には、補習、集中学習会、東京の難関大学見学ツアー、大学別入試研究会なども実施しています。特に名古屋大学・岐阜大学の入試研究会は本校が企画し、県内の高校に呼びかけて実施しています。生徒には他校の生徒と一緒に学習する切磋琢磨の機会となっています。

また近年、関高生は安易な方向に流れることなく、高い志を持って難関大学等を志望する傾向にあります。進路指導部としても様々な機会を通して生徒の進路実現をバックアップしています。

卒業年度	19	18	17
卒業者数	315	354	355
国公立大学	141	161	152
私立大学	545	742	635
東京大学		1	1
京都大学	5	5	2
名古屋大学	21	19	18
大阪大学	6	2	1
岐阜大学	20	37	40
早稲田大学	17	11	9
南山大学	37	49	36
名城大学	36	77	63
立命館大学	44	64	47
同志社大学	24	42	25

第六十回生（平成二十年三月卒業）同窓会委員

1組　古川　温基
2組　河合　真矢
　　福脇　大貴
3組　加藤真依子
　　伊藤　将基
　　亀山加帆里
4組　加藤　武
5組　斉藤沙弥佳
　　後藤　宏隆（学年幹事）
6組　鈴木　可奈（学年幹事）
　　福地　智彦
7組　興津　慈枝
　　志津翔太郎
8組　西部　有紗
　　水谷　彰大
　　安田　伶香

平成20年度同窓職員異動

【転出】
教諭（地歴・公民）小塩　康真（高35回）
実習助手（理科）澤野真恵美（高28回）

【転入】
教諭（地歴・公民）天池　光治（高32回）
学校用務員　後藤　純子（高29回）

事務局だより

▼今年は二年に一度の通常会費（二千〇〇〇円）納入の年にあたっております。同封の振込み用紙をご利用のうえ、最寄りの郵便局よりお振込みくださいますようお願い致します。

▼転居・市町村合併等による町名や地番の変更により、会員の皆様へのご連絡や「桜ヶ丘だより」のご送付に支障が生じております。また、個人情報の保護が叫ばれる昨今の状況も考慮致しますと、会員名簿の作成・発行は非常に困難になっております。つきましては、各学年の幹事の皆様や、会員の皆様ご本人からの情報を事務局までお知らせ頂けると幸いに存じます。何とぞよろしくお願い致します。

▼同窓会開催の折には、事務局までお知らせください。補助金をご援助しております。

▼会報掲載用の原稿を募集しております。同窓会員の皆様のご活躍の様子や、同窓会での交歓のひとときなどの記事をお写真とともにお寄せください。（お写真はお返し致します）

おくやみ

村瀬　辰美先生
古田　美子先生
奥田　正子先生
藤井　由子先生

ご冥福をお祈りします。